

平成28年度 現代社会 シラバス

沖縄県立 南風原高等学校

教科名	科目名 (単位数)	教科書・副読本	学年
公民	現代社会 (2単位)	「高等学校現代社会」 第一学習社	1年
		「現代社会演習ノート」 第一学習社	
		「最新現代社会資料集 2016」 第一学習社	

1. 学習目標

- ① 現代社会の基本的な問題について公正な判断ができる。
- ② 人間としての在り方生き方について考える力を身につける。
- ③ 良識ある公民として必要な能力と態度を育む。

2. 年間学習計画

学期	月	(編・章) 学習内容	学習のねらい	配当時間
一 学 期	第1編 私たちの生きる社会 現代社会の諸問題について様々な観点から、追及する学習を通して主体的な思考力を養います。			
	4 月 ～ 5 月	①地球環境問題	様々な環境問題と人間の在り方について理解する。	8
		②資源・エネルギー問題	資源の有限性について理解を深める。	
		③科学技術の発達と生命倫理	科学技術の発達が社会や生活にどのように変えてきたのか考える。	
		④高度情報社会と私たちの生活		
	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 現代社会の多様な問題を理解させるとともに青年としての自己との関わりを考えます。			
	5 月 ～ 6 月	【第1章 現代に生きる青年】		4
		①青年期の意義と自己形成の課題	人生の中で青年期はどのような意味を持つのかを考える。	
		②現代社会における青年の行き方	人生における職業の意味、社会活動の意義について考える。	
		③伝統や文化と私たちの生活	伝統や文化と自らの行動様式や考え方と関係について考える。	8
		【第2章 個人の尊重と法の支配】		
		①民主政治における個人と国家	私たちと政治、政治と国家、国家成立の思想について理解する。	
	7 月 ～ 9 月	②基本的人権と法の支配	法の支配、基本的人権の保障、人権の国際的保障について理解する。	5
		③世界の主な政治体制	世界の主な政治体制について理解し、真の民主主義の実現について考える。	
【第3章 現代の民主政治と政治参加の意義】				
①日本国憲法の基本原理	日本国憲法の基本原理について理解する	5		
②平和主義と安全保障	恒久平和主義、戦争放棄、憲法と自衛隊、非核三原則、自衛隊をめぐる問題について理解する。			
③基本的人権の保障と新しい人権	基本的人権、社会権、基本的人権を確保するための権利、新しい人権、公共の福祉について理解する。			

学期	月	(編・章) 学習内容	学習のねらい	配当時間
	7月 ～ 11月	④国民主権と議会制民主主義	国民主権と議会制民主主義、国会の地位と権限、国会の運営と権限、衆議院の優越について理解する。	6
		⑤内閣と行政の民主化	議院内閣制のしくみ、行政の民主化について理解する。	
		⑥裁判所と人権保障	司法権の独立、最高裁判所の役割、裁判員制度について理解する。	
		⑦地方自治と住民福祉	地方自治の組織と運営、地方自治の課題について理解する。	
		⑧世論形成と政治参加	政党政治、日本と世界の選挙制度、世論と政治について理解する。	
二 学 期	9月 ～ 10月	【第4章 国際政治の動向と日本の役割】		7
		①国家主権と国際法	国際社会の特徴、国際法の意義と役割について理解する。	
		②国際連合の役割	国連の役割と課題、NGO・NPOの役割について理解する。	
		③今日の国際社会	第二次世界大戦後と、冷戦終結前後の国際社会の状況について理解する。	
		④核兵器の廃絶と国際平和	軍縮と核兵器廃絶への道のりについて理解する。	
		⑤国境と領土問題	国境と領土問題について理解する。	
		⑥地域紛争と人権・民族問題	様々な人種と民族、主な地域紛争、難民問題について理解する。	
		⑦外交政策と日本の役割	国際社会の課題について理解する。	
三 学 期	11月 ～ 12月	【第5章 国際政治の動向】		15
		①経済社会と経済体制	資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。	
		②現代の企業	企業の役割と社会的責任、株式会社、多国籍企業について理解する。	
		③市場経済のしくみ	市場のしくみ、競争と独占・寡占について理解する。	
		④経済成長と景気変動	国民所得や景気変動について理解する。	
		⑤政府の経済的役割と租税の意義	財政政策の意義、日本の財政の課題、租税について理解する。	
三 学 期	1月 ～ 2月	⑥金融機関のはたらき	金融機関の役割、日銀の役割と金融政策、金融の国際化・自由化について理解する。	15
		⑦戦後の日本経済の動き	戦後の日本経済のあゆみと日本経済の課題について考える。	
		⑧産業構造の変化	産業構造の高度化、経済のサービス化・ソフト化、中小企業の役割、農林水産業について理解する。	
		⑨雇用と労働問題	労働基本権と労働三法、雇用事情の変化、労働条件の改善と今後の課題について考える。	
		⑩公害の防止と環境保全	公害防止と環境保全について理解する。	
		⑪消費者保護と契約	消費者主権、消費者保護政策について理解する。	
		⑫社会保障と国民福祉	社会保障の意義、社会保障の課題について理解する。	
	2月 ～ 3月	【第6章 国際政治の動向】		6
		①国際経済のしくみと貿易の拡大	経済のグローバル化について理解する。	
		②国際経済の動向	日本の貿易やアメリカ、アジアなどの貿易について理解し、地域的経済統合によってもたらされるものを考える。	
		③発展途上国の経済と南北問題	発展途上国の現状と課題について考える。	
		④国際協調と日本の役割	国際経済の中での日本の役割について考える。	

	月	(編・章) 学習内容	学習のねらい	配当時間
三 学 期	2 月 ～ 3 月	【第7章 現代に生きる倫理】		8
		①豊かな人生を求めて	人生を豊かに生きることについて考える。	
		②日本の伝統的なものの考え方	日本の伝統意識を理解し、仏教や儒教、西洋思想の影響について考える。	
		③西洋の自然観と人間観	人間の尊厳や科学的なものの考え方について理解する。	
		④私たちの課題	社会で共に生きるためにしなければならないことを考える。	
	第3編 共に生きる社会をめざして			
	3 月	ケーススタディ ①税と社会 ②発展途上国の貧困問題の解決を目指して ③人口問題と私たちの未来	具体的なテーマを設定し、私たちの未来を考える。	3

3. 学習方法

- 授業は、教科書や「現代社会演習ノート」、「新編テーマ資料 現代社会 2016」、先生方が準備するワークシート、板書を中心に進めていきます。
- 学習内容に応じて図書館やインターネット等も活用していきます。
- 日頃から新聞等に親しみ、社会で起きている諸問題について関心を高めるようにしましょう。

4. 評価の方法及び評価資料

- 日々の授業態度やワークシート、「現代社会演習ノート」、宿題等の取り組み状況
- 中間・期末等の定期考査や実力テスト等
- 夏休みや冬休み等の長期休業中の課題
- 課題追究学習におけるレポートや発表